

平成 29 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における横堤中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 29 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的(全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋)

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- 国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- 横堤中学校では、2年生 114名

3 調査内容

● 生徒に対する調査

ア 実技に関する調査(以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様)中学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ(※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査(以下「生徒質問紙調査」という。)を実施する。

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立横堤 中学校

生徒数

114

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	29.23	26.59	38.23	48.86		88.23	8.10	178.90	18.00	38.40
大阪市	29.00	27.45	41.55	51.39	409.58	84.05	8.10	189.74	20.39	41.00
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
女子	25.55	24.75	42.77	47.75		66.42	8.74	168.47	13.41	52.20
大阪市	24.11	23.81	44.70	46.89	303.77	57.92	8.95	165.67	13.06	49.27
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	287.36	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97

結果の概要

男子においては、握力・20mシャトルランでは全国平均を上回りましたが、その他の項目および体力合計点では下回りました。また、女子においては、長座体前屈・立ち幅跳びでは全国平均を下回りましたが、その他の項目および体力合計点では上回りました。
男女共通して、握力・シャトルランは全国平均を上回っており、持久力は優れていますが、長座体前屈、立ち幅跳びは全国を下回っており、柔軟性や瞬発力に課題が見られます。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

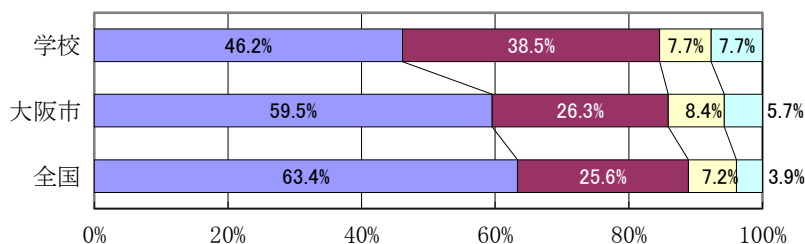
昨年度よりもICT機器を積極的に授業に取り入れたことについては、一定の達成感は一足感じられるようです。また、積極的な働きかけにより、学校の部活動(運動部)や地域のスポーツクラブに所属する生徒数や、自発的に所属する生徒は全国平均よりも多くなっています。しかしながら、授業が楽しいと回答する割合が男子で低いところや、男女共通して、「授業の目標が示されている」と回答する生徒の割合が低いため、すべての教科を通して、授業の目標がはっきりとわかるよう、授業研究に努めます。さらに、運動に対する興味関心を高め、将来に夢や希望を持てる生徒の育成に努めるため、また、柔軟性や瞬発力を向上させるために、専門的指導者やトップアスリートから学ぶ機会を増やしたり、プレイヤーズファーストの精神を徹底し、適切な部活動の在り方や、生徒に自信をつけさせる効果的な指導力の向上に努めます。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

1

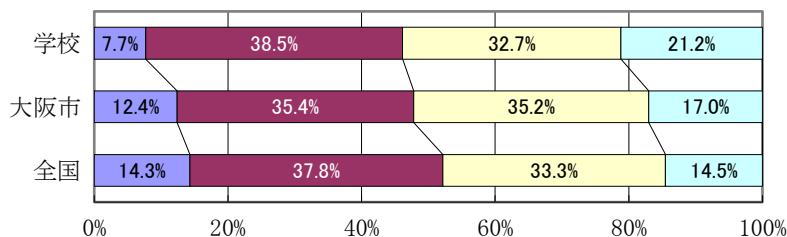
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□ややきらい
□きらい

2

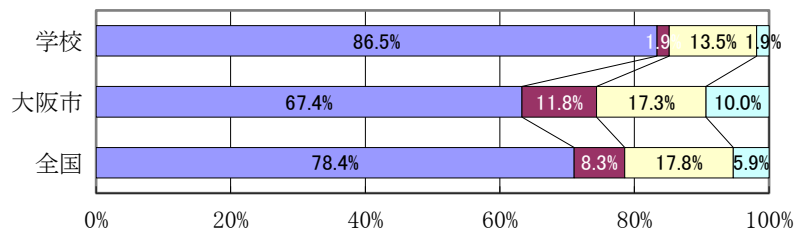
自分の体力・運動能力に自信がありますか。



□自信がある
■やや自信がある
□あまり自信がない
□自信がない

5

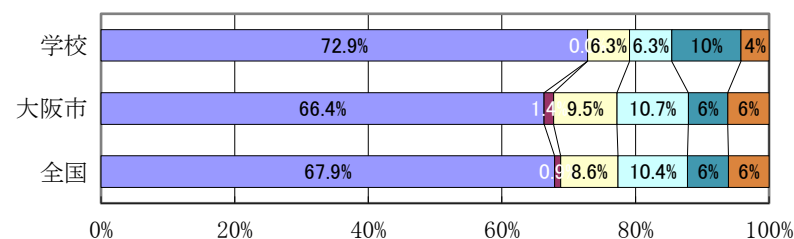
学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものを全て選んでください。



□運動部
■文化部
□地域のスポーツクラブ
□所属していない

5-3

「運動部」「地域のスポーツクラブ」と答えた人は、そこにいった一番強いきっかけはどのようなことですか。1つだけ選んでください。



□自分からすすんで
■先生に勧められたから
□家の人に勧められたから
□友達にさそわれたから
■家の人や友達が入っていたから
■その他

成果と課題

運動への積極的な働きかけにより、学校の部活動(運動部)や地域のスポーツクラブに所属する生徒数や、自発的に所属する生徒は全国平均よりも多くなっています。しかし、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きであると回答する生徒や、自分の体力・運動能力に自信があると回答する生徒の割合は全国よりも低い傾向にあります。

今後の取組

専門的指導者やトップアスリートから学ぶ機会やを増やしたり、プレイヤーズファーストの精神を徹底し、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きであると回答する生徒の割合を増やすために、適切な部活動の在り方や、生徒に自信をつけさせる効果的な指導力の向上に努めます。

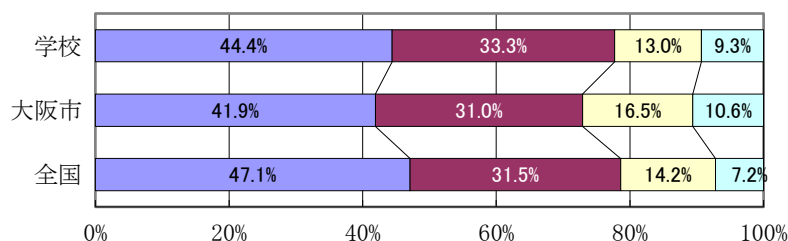
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

1

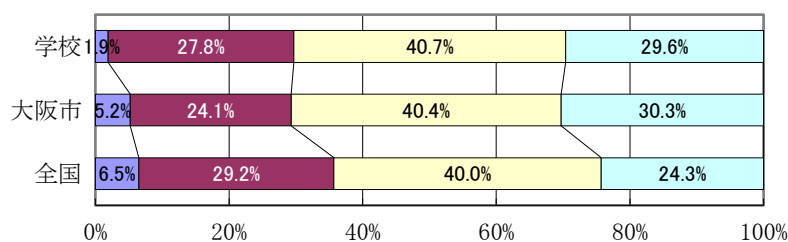
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□ややきらい
□きらい

2

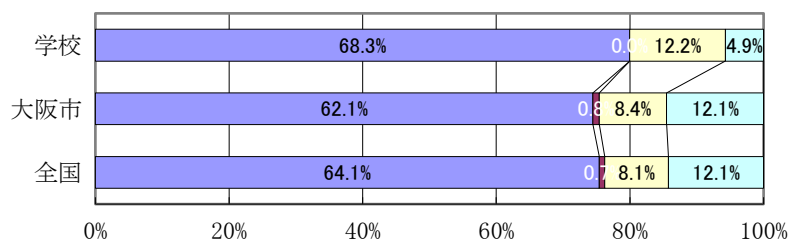
自分の体力・運動能力に自信がありますか。



□自信がある
■やや自信がある
□あまり自信がない
□自信がない

5

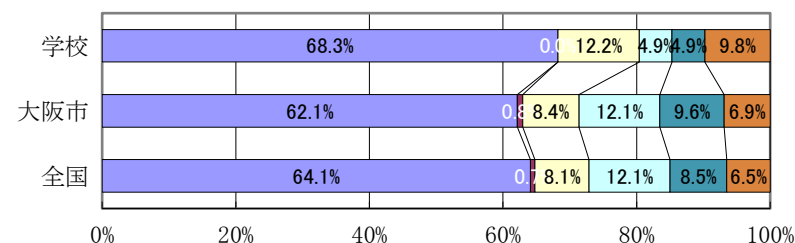
学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものを全て選んでください。



■運動部
■文化部
□地域のスポーツクラブ
□所属していない

5-3

「運動部」「地域のスポーツクラブ」と答えた人は、そこにいった一番強いきっかけはどのようなことですか。1つだけ選んでください。



□自分からすすんで
■先生に勧められたから
□家の人に勧められたから
□友達にさそわれたから
■家の人や友達が入っていたから
■その他

成果と課題

運動への積極的な働きかけにより、学校の部活動(運動部)や地域のスポーツクラブに所属する生徒数や、自発的に所属する生徒は全国平均よりも多くなっています。また、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きであると回答する生徒は若干全国平均を下回り、自分の体力・運動能力に自信があると回答する生徒の割合は全国よりも低い傾向にあります。

今後の取組

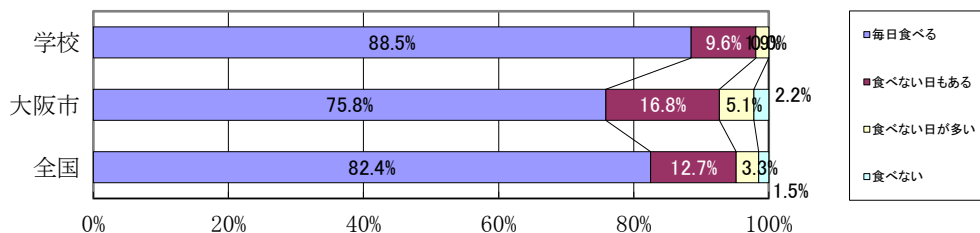
男子と同様に、専門的指導者やトップアスリートから学ぶ機会やを増やしたり、プレイヤーズファーストの精神を徹底し、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きであると回答する生徒の割合を増やすために、適切な部活動の在り方や、生徒に自信をつけさせる効果的な指導力の向上に努めます。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号 質問事項

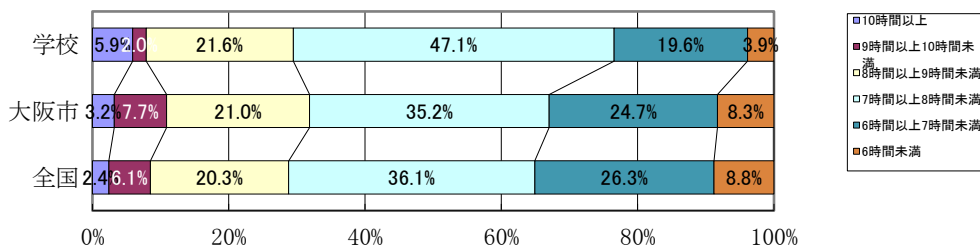
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



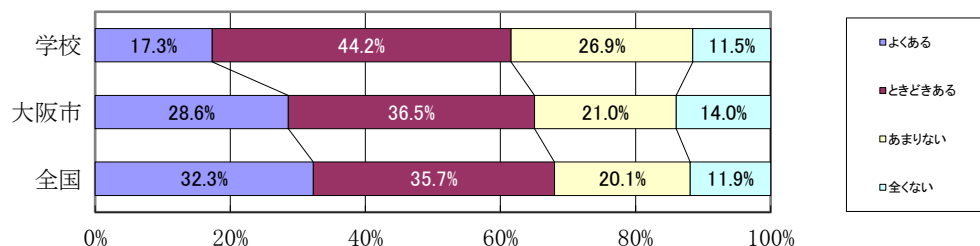
9

毎日どのくらい寝ていますか。



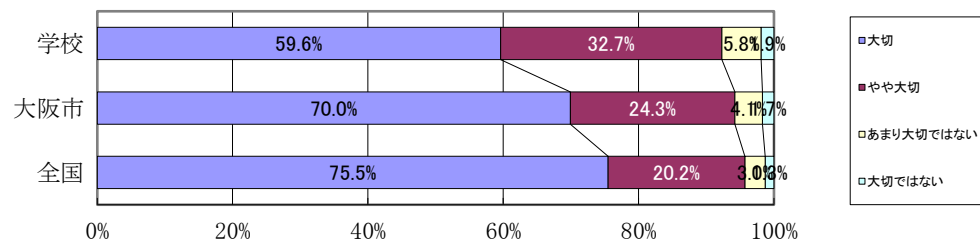
12

放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることがありますか。



15

運動(体を動かす遊びを含む)を行うことは、どのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食をしっかりとりことへの取り組みから、朝食は毎日食べることについては、全国平均に比べ一定の習慣はついているとみられます。また、日々の睡眠時間については、睡眠時間が少ない(7時間未満)の生徒の割合が全国平均よりも少なくなっています。しかしながら、10時間以上寝ているという生徒の割合が多いところも気になります。また、放課後や休日に体を動かす生徒の割合や、体を動かすことが大切であると回答する生徒の割合は、全国平均よりも低くなっています。

今後の取組

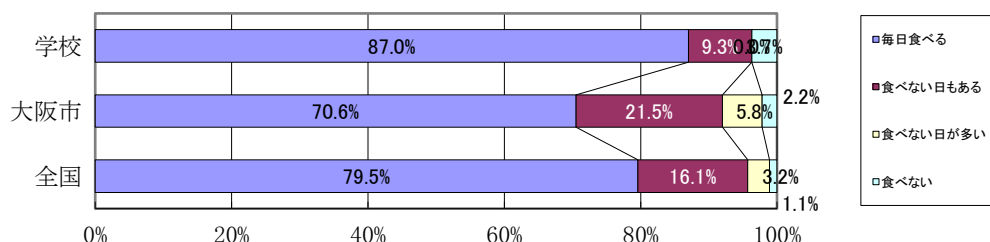
毎日の食習慣や規則正しい睡眠など、健康のみならず学力面においても相関関係がみられるので、朝ごはんウィークなどの取り組みの継続はもちろん、親子給食における食育指導、家庭科や生活指導部とも連携し、規則正しい生活習慣を家庭とも連携しながら取り組みます。また、保健体育の授業や専門的指導者やトップアスリートからの講話などからも運動することの大切さを伝えたり、地域スポーツに参加するなど、体を動かす習慣を定着させていきます。

ふだんの生活について（女子）

質問番号 質問事項

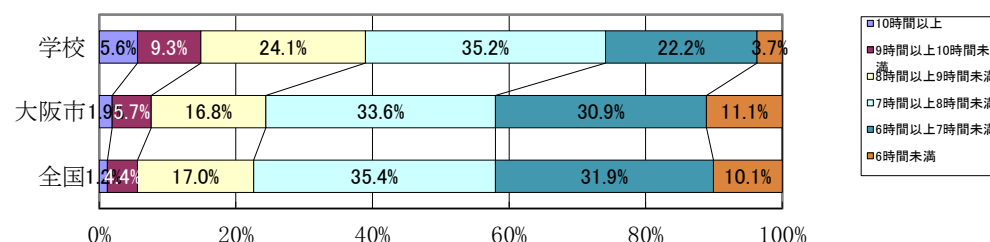
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



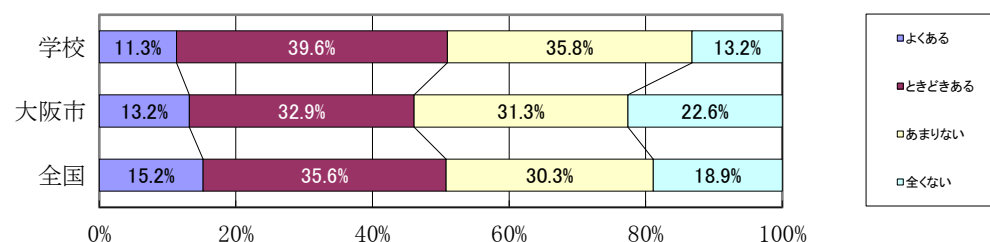
9

毎日どのくらい寝ていますか。



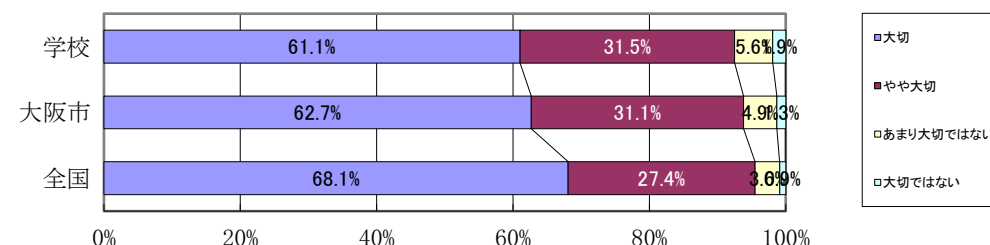
12

放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることがありますか。



15

運動(体を動かす遊びを含む)を行うことは、どのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食をしっかりとることへの取り組みから、朝食は毎日食べることや、日々の睡眠時間をしっかりとることについては、全国平均よりも上回っています。しかしながら、10時間以上寝ているという生徒の割合が多いところも気になります。また、放課後や休日に体を動かす生徒の割合や、体を動かすことが大切であると回答する生徒の割合は、全国平均よりも低くなっています。

今後の取組

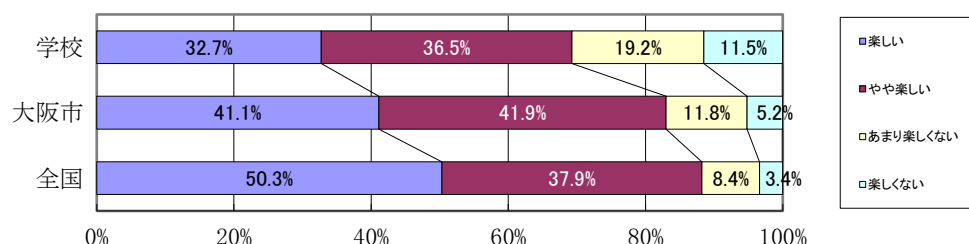
毎日の食習慣や規則正しい睡眠など、健康のみならず学力面においても相関関係がみられるので、朝ごはんウィークなどの取り組みの継続はもちろん、親子給食における食育指導、家庭科や生活指導部とも連携し、規則正しい生活習慣を家庭とも連携しながら取り組んでいきます。また、保健体育の授業や専門的指導者やトップアスリートからの講話などからも運動することの大切さを伝えたり、地域スポーツに参加するなど、体を動かす習慣を定着させていきます。

保健体育の授業について（男子）

質問
番号 質問事項

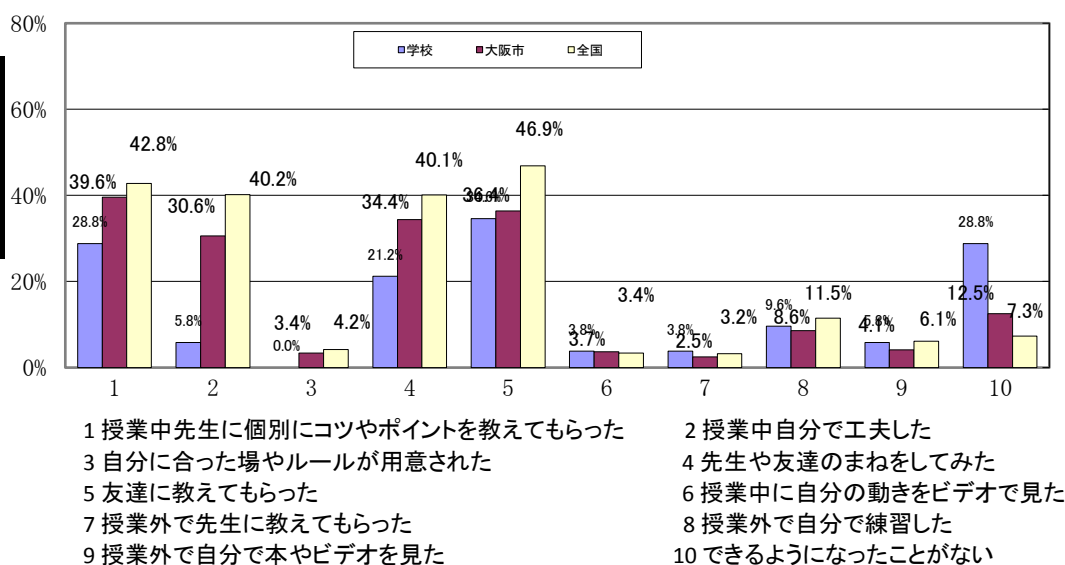
18

保健体育の授業は楽しい
ですか



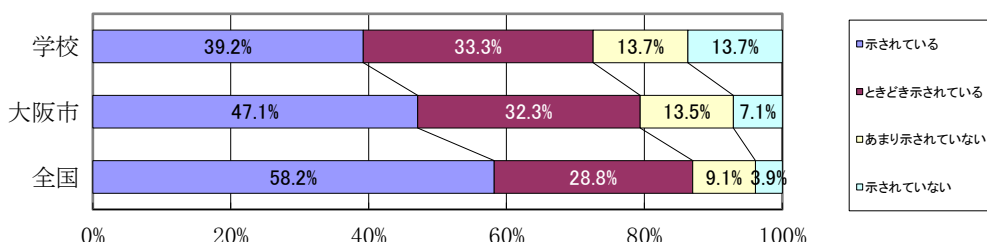
23

これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



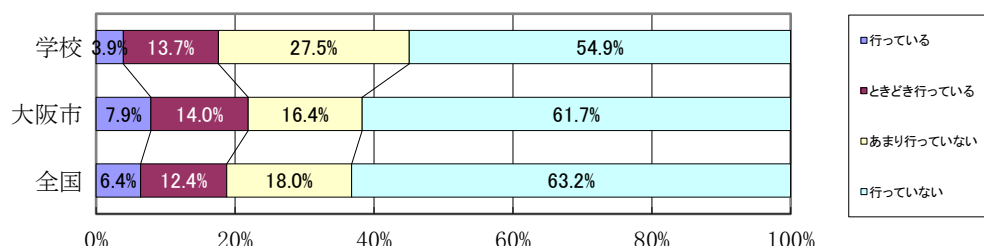
19

ふだんの保健体育の授業
では、授業の始めに授業の
目標(目当て・ねらい)が示さ
れていますか。



24

ふだんの保健体育の授業
で、ビデオ・デジタルカメ
ラ、タブレット端末などを
用いて、自分や友達の動きを
撮影して活用する活動を
行っていますか。



成果と課題

授業規律を守ることを徹底する指導を継続する中でも、教師に質問しやすい授業をすすめています。授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由について、「できるようになったことがない」と回答する生徒の割合が多いことから、自尊心のなさや諦めが感じられます。また、保健体育の授業で「目当て・ねらい」が示されていると感じる生徒の割合も少なく、結果、保健体育の授業は楽しと回答する生徒の割合も全国平均に比べて低くなっています。しかしながら、ICT機器を授業に取り入れることには積極的であり、努力の結果「できるようになった」と達成感を感じさせる授業展開が必要です。

今後の取組

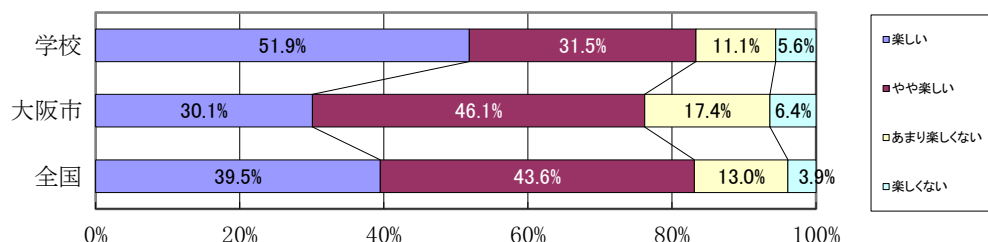
保健体育の授業のみならず、「目当て・ねらい」「まとめ」をわかりやすく伝え、個々の目標を適切に設定し、「できるようになった」という達成感を感じさせられるよう、さらに授業研究に取り組んでいきます。また、ICT機器の利用については校内でも広がってきているところなので、生徒個々の振り返りなどにも利用し、「できるようになった」という達成感の向上に努めます。

保健体育の授業について（女子）

質問 番号 質問事項

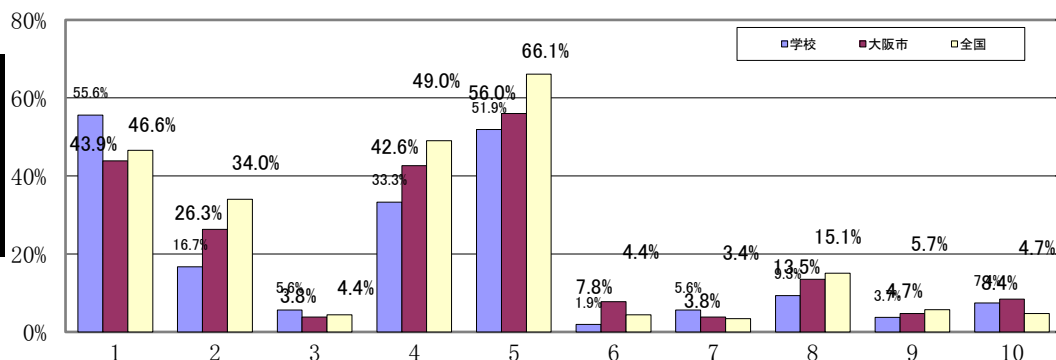
18

保健体育の授業は楽しいですか



23

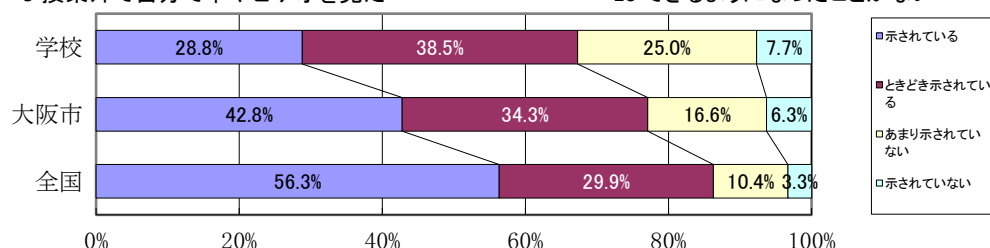
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 授業中自分で工夫した
- 自分に合った場やルールが用意された
- 先生や友達のまねをしてみた
- 友達に教えてもらった
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で先生に教えてもらった
- 授業外で自分で練習した
- 授業外で自分で本やビデオを見た
- できるようになったことがない

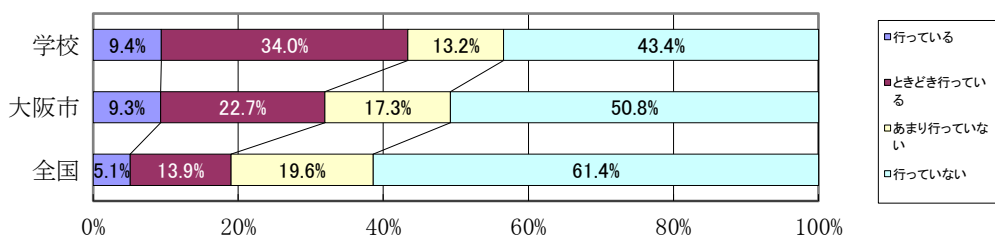
19

ふだんの保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示されていますか。



24

ふだんの保健体育の授業で、ビデオ・デジタルカメラ、タブレット端末などを用いて、自分や友達の動きを撮影して活用する活動を行っていますか。



成果と課題

授業規律を守ることを徹底する指導を継続する中でも、教師に質問しやすい授業をすすめている結果、授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由について、「授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」と回答する生徒の割合が多くなっています。また、ICT機器を授業に取り入れることにも積極的であり、男子に比べ、達成感は一足感じられるようです。しかし、保健体育の授業で「目当て・ねらい」が示されていると感じる生徒の割合は全国平均よりも低くなっています。

今後の取組

保健体育の授業のみならず、「目当て・ねらい」「まとめ」をわかりやすく伝え、個々の目標を適切に設定し、「できるようになった」という達成感を感じさせられるよう、また、ICT機器の利用については校内でも広がってきているところなので、生徒個々の振り返りなどにも利用し、「できるようになった」という達成感の向上に努め、保健体育の授業が楽しいと回答する生徒の割合をさらに増加させられるよう、さらに授業研究に取り組んでいきます。

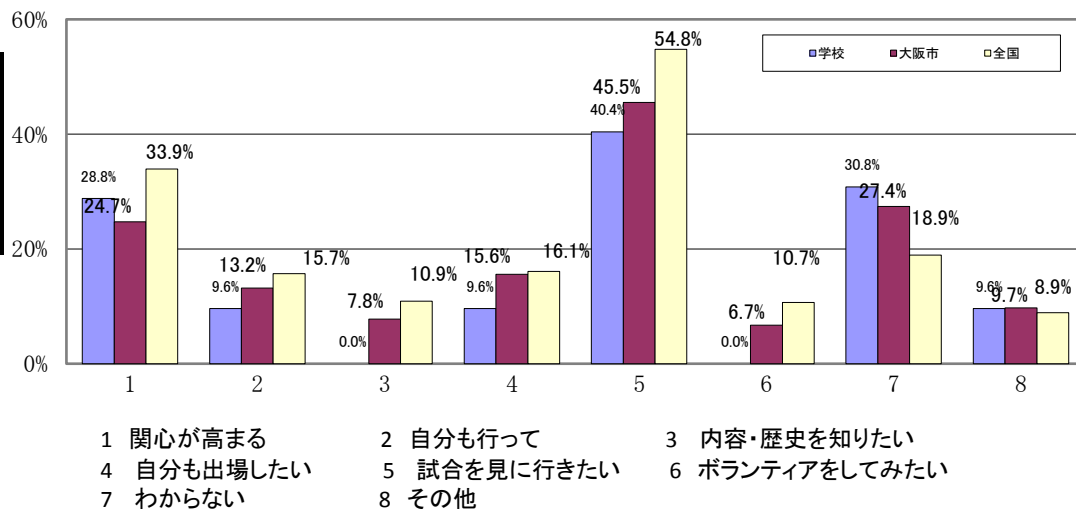
その他（男子）

質問
番号

質問事項

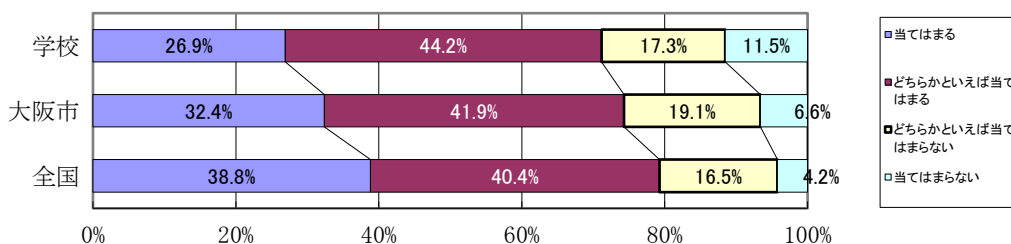
29

オリンピック・パラリンピックが2020年に日本で行われますが、あなたの今の気持ちに当てはまるものを全て選んでください。



31

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



成果と課題

授業の中で個々に目標を設定し、達成できるよう授業に取り組みましたが、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答する生徒は約70%ほどで、全国平均の約80%よりも低い結果でした。授業や部活動、また普段の生活の中においても、不屈の精神や前向きな気持ち、それを応援する周囲の雰囲気大切です。

今後の取組

授業や部活動を含む学校生活全般において、また、専門的指導者やトップアスリートからの体験談から、チャレンジ精神の向上をはかります。また、運動が得意な生徒、苦手な生徒も自他共に認めあえる集団づくりに努めます。

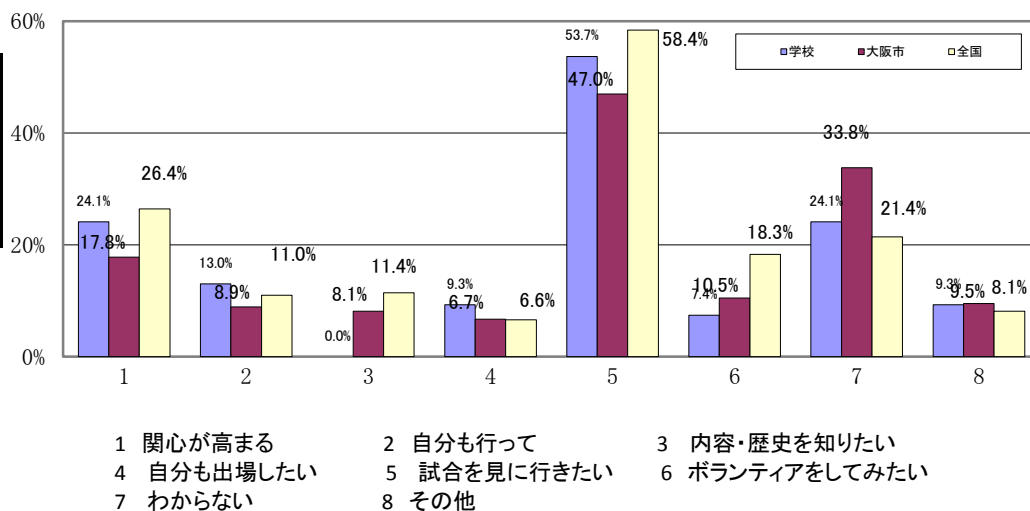
その他（女子）

質問
番号

質問事項

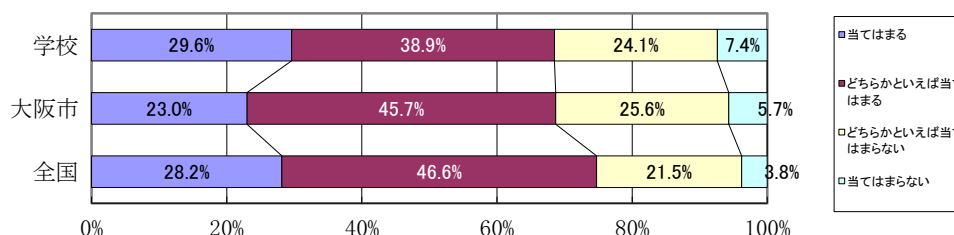
29

オリンピック・パラリンピックが2020年に日本で行われますが、あなたの今の気持ちに当てはまるものを全て選んでください。



31

難しいことでも、失敗を恐れ
ないで挑戦している。



成果と課題

授業の中で個々に目標を設定し、達成できるよう授業に取り組みましたが、失敗を恐れずに挑戦していると肯定的に回答する生徒は約70%ほどで、全国平均の約75%よりも低い結果でした。授業や部活動、また普段の生活の中においても、不屈の精神や前向きな気持ち、それを応援する周囲の雰囲気大切です。

今後の取組

授業や部活動を含む学校生活全般において、また、専門的指導者やトップアスリートからの体験談から、チャレンジ精神の向上をはかります。また、運動が得意な生徒、苦手な生徒も自他共に認めあえる集団づくりに努めます。